※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　白稜科

教科	白稜	科目	演劇・パフォーマンス	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

演劇やパフォーマンスの体験を通して、周りの人々と協働して社会で生きていくために必要な、コミュニケーション能力を育てる科目です。

２　学習の到達目標

（１）演劇やパフォーマンスの体験を通して、社会におけるコミュニケーションの重要性を理解するとともに身体を用いた表現の効果に気付く。
（２）チームの中で自分の役割を果たすためにはどのようにすれば良いか、考え、情報伝達の技能を身につけ、協力して一つの物をつくりあげる。
（３）演劇やパフォーマンスの体験を通して、主体的・積極的に自己表現を行う態度を身に付けるとともに表現力を身につける。また、テーマや目的に合わせ適切な身体表現について創造的に考え実践することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	テーマや目的に合わせ、適切な身体表現について、創造的に考え、実践することができる。 チームの中で自分の役割を果たすためにはどのようにすれば良いか、情報伝達の技能を身につけ、協力して一つの物をつくりあげる。	演劇やパフォーマンスの体験を通して、社会におけるコミュニケーションの重要性を理解するとともに身体を用いた表現の効果に気付く。	演劇やパフォーマンスの体験を通して、主体的・積極的に自己表現を行う態度を身に付けるとともに表現力を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	演劇オリエンテーション	・どうして演劇を学ぶかの意義を考える ・身体性の訓練(ストレッチ) ・呼吸法と発声の基礎を学ぶ。 ・コミュニケーションゲーム ・エチュード(会話・対話のレッスン)	a: 演劇やパフォーマンスの体験を通して、社会におけるコミュニケーションの重要性を理解する。 b: 演劇やパフォーマンスの体験を通して、身体を用いた表現の効果に気付く。 c: チームの中で自分の役割を果たし、情報伝達をすることができる。	記述の内容	役割の観察	行動の観察
2学期	演劇プログラム	・プロット作り ・チーム分け ・役割分担 ・台本読み ・実技練習	a:身体表現の効果について気づく。 b: チームの中で自分の役割を果たすためにはどのようにすれば良いか、情報伝達の技能を身につけ、協同して一つの物をつくりあげる。 c: 主体的・積極的に自己表現を行う態度を身に付ける	記述の内容 実技テスト	役割の観察	行動の観察
3学期	発表	・クラス内発表 ・校内発表	a:発表会に向けて、わかりやすい表現、伝わる表現を工夫する。 b: テーマや目的に合わせ、適切な身体表現について、創造的に考えたことを実践することができる。 c:主体的・積極的に自己表現を行う態度を身に付ける	記述の内容	発表会の観察	行動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度